

みちのく ココロとカラダの癒し旅

山形県最上町

【瀬見温泉 喜至楼】



瀬見発電所の流水が滝のように小国川に注ぐ



湯前神社には飲泉所と足湯がある



橋の欄干に牛若丸の像。瀬見温泉には義経・弁慶伝説が残る

明治元年建築の本館玄関は現存する山形県最古の旅館建築 ▶

看板は別館となっているが、ここが喜至楼宿泊客の入口 ▼



古き良き時代の 温泉旅館

宮城県古川市（現在は合併で大崎市）と山形県新庄市を結ぶ国道47号沿いには多くの温泉郷が連なっている。川渡、東鳴子、鳴子、中山平、赤倉などなど。その一連の温泉郷の中で最も新庄市寄りに位置するのが瀬見温泉だ。小国川左岸の細長い土地に旅館や土産物屋が密集するやや地味な印象の温泉だが、京都から平泉に源義経主従が落ちのびていく途中、この地に立ち寄ったおりに弁慶が発見したと伝えられ、それから数えると800年余りの歴史のある温泉ということになる。

この温泉郷で最古参の温泉旅館「喜至楼」は、地元戸沢藩の家臣で殿様から瀬見温泉の湯守を命ぜられたという家柄だ。創業は江戸中期。

本館の玄関の一部は明治元年の建築で、山形県では最古の旅館建築だとか。かつての多くの温泉旅館





館内は懐かしい木造校舎のようなおもむきもある



夜の瀬見温泉街



増築に増築を重ねて館内は迷路のようだ



かつて使われていた
客室用の火鉢



館内に点在する彩色された
彫り物がほほえましい

レトロムードに 往時の賑わいを偲ぶ

瀬見温泉は新庄市近郊ということもあり、昭和40年代ころまでは大変な賑わいであったという。ちょうど、ひと昔前の地方都市の庶民が、休日に家族連れでデパートに行って買い物の合間に食堂で食事をしたり、屋上遊園地で子供たちを遊ばせたりしたのと同じような、そんな憩いの場を提供したのがこの界限では瀬見温泉だったらしい。浴室の脱衣場に飾られた金

がそうであったように、喜至楼も長い間に増築を重ね、館内は迷路のように複雑。そして、温泉が庶民の最大の娯楽の場であった時代の面影がそこに残り、レトロムードは満点。設備面では最近の宿泊施設に一步譲るが、古き良き時代の温泉旅館の風情を堪能したい向きにはたまらない一軒だ。宿泊客用の玄関には「喜至楼別館」の看板が掲げられているが、全館は廊下でつながっている。この別館棟の一部も大正時代の建築だそうで、廊下などには懐かしい木造校舎の雰囲気もある。



本館玄関は現在は日帰り入浴客と湯治客用



「ローマ式千人風呂」とはやや大げさだが、それもウィットか

太郎などの木彫りは、家族連れでやってくる子供たちを楽しませるためのものだったとか。

大浴場には「ローマ式千人風呂」と壮大な名前がつけられている。こんなネーミングからも往時の喜至楼が「庶民の娯楽場」的な存在であったことがうかがわれる。大浴場が一つしかないのは混浴が珍しくなかった時代の名残りか。現在は千人風呂は時間帯によって、混浴、男性専用、女性専用と使い分けられている。この他にも「あたたまり湯」



「オランダ風呂」もヨーロッパの温泉スタイルから付けた

や「オランダ風呂」と名付けられた浴室があり、男女とも気兼ねせず、どの時間帯でもいづれかの浴室は利用できる。また、家族でゆっくり温泉浴を楽しめる家族風呂もある。瀬見温泉の無色透明の湯は、泉質的にはナトリウム・カルシウム・塩化物・硫酸塩泉。熱めの湯が特徴だ。

料理は素朴な中にも芋煮やソバなど山形らしい味覚に小国川名産の鮎の塩焼きも添えられ、旅情が感じられて好ましい。

タイムトラベルのような郷愁の旅

宿の設備としては、トイレなしの客室もあり、やや前時代的な面もあるが「できるだけお客様に不快な思いをさせないよう、手入れだけは怠っていません」と女将は言う。面白いことに、障子一枚で廊下と隔てているだけの一番古いタイプの客室を好んでリクエストする客も少なくないという。今は数少なくなつた古き良き日本の温泉旅館の情緒を積極的に堪能するのが、この宿の正しい利用の仕方と言えるかもしれない。

JR 陸羽



瀬見温泉駅を擁するJR陸羽東線では今秋からリゾート列車も運行されている

東線の瀬見温泉駅からも至近なので、のんびりと鈍行列車に揺られての湯巡り旅も面白いだろうし、冬場であれば近隣の赤倉温泉スキー場とセットで温泉&スキーを楽しんでみるのもいいだろう。少しだけ時代をさかのぼるような、こんな温泉旅も悪くない。

(文・写真Ⅱかとう・りゅうえつⅡ秋田市)

瀬見温泉 喜至楼

K I S H I R O U

〒999-6211

山形県最上郡最上町大字大堀988

Tel.0233-42-2011 Fax.0233-42-2016

URL <http://www.kishirou.com/>

お一人様(1泊2食付き) 8,400円より(税・サビ)

【施設のご案内】

- 客室24室 ●駐車場完備(30台)
- 大浴場「ローマ式千人風呂」1
- 浴場「岩風呂」1、「家族風呂」2
- 「あたたまり湯」男女各1
- 「オランダ風呂」男女各1
- 大宴会場 ●中宴会場
- ホール ●ロビーラウンジ

【地図】



鮎の塩焼きの器は小国川名物の築(やな)に似せて

山形の定番といえば芋煮



本館の客室は障子一枚で廊下につながるがこちらも意外に人気



客室は古き良き温泉旅館のおもむきそのまま